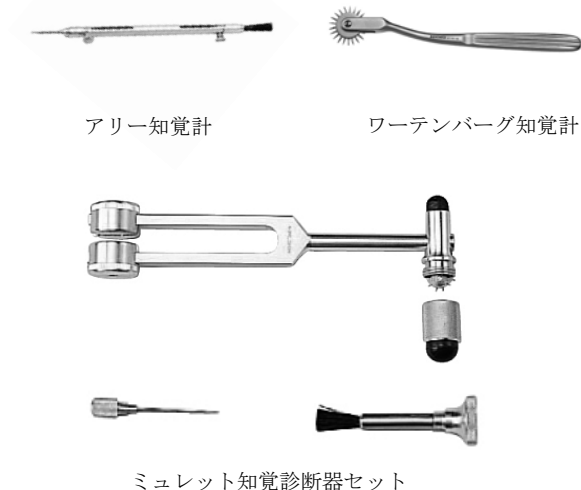


機械器具 24 知覚検査又は運動機能検査用器具
一般医療機器 手動式皮膚痛覚計 12950001

BONIMED 知覚計

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



アリー知覚計

ワーテンバーグ知覚計

ミュレット知覚診断器セット

2. 原材料

- 1) アリー知覚計
痛覚針：ステンレス鋼
触覚ブラシ：ナイロン
- 2) ワーテンバーグ知覚計
知覚部：ステンレス鋼
- 3) ミュレット知覚診断器セット
回転知覚部：ステンレス鋼
打診器先端部：スチレン・ブタジエンゴム（合成ゴム）
痛覚針：ステンレス鋼
触覚ブラシ：ナイロン
音叉：アルミニウム合金

3. 原理

ピン又は針等による刺傷で感受性を測る。

【使用目的又は効果】

麻酔薬投与後の患者の痛みに関する感受性（ピンによる刺傷等）を測定する、又はその他の感覚診断に用いる手動式装置であり、使用目的に応じて機能が異なり種別される。

* 【使用方法等】

痛覚計・触覚計・知覚計

- 1) 使用前に、必要に応じて洗浄・消毒する。
- 2) 内蔵された痛覚計、触覚計又は知覚計を本体から取り出す。
- 3) 先端部を検査部位にあてがって刺激を与える。
- 4) ワーテンバーグ知覚計は、そのまま先端部を検査部位にあてがって刺激を与える。
- 5) 使用後はすみやかに消毒し、必要に応じて洗浄すること。

打診器

- 1) 使用前に、必要に応じて洗浄・消毒する。
- 2) 先端部で検査部位をたたく。

音叉（振動覚計）

- 1) 使用前に、必要に応じて洗浄・消毒する。
- 2) U字型先端部をたたいて音を出し、検査部位にあてがって一定時間刺激を与える。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒する。
- 2) 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。
- 3) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
- 4) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
- 5) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
- 6) 使用前に汚れ・破損・可動部の動き等を点検する。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器株式会社

TEL 0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>

製造業者：トントラメディツインテヒニック社 ドイツ

TONTARRA Medizintechnik GmbH